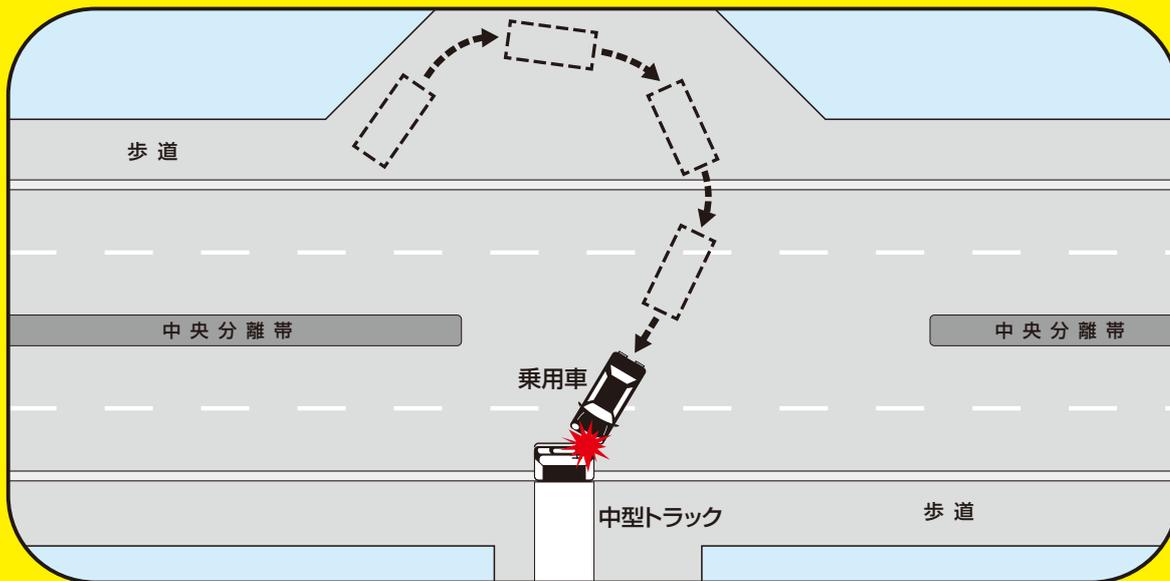


直進と大回り右折の事故

～動きながらの左右確認は大丈夫…?～



どのような場所か…

優先道路と一般道路の信号機のない交差点。

どのような事故か…

交差点を直進中の中型トラックと右折しようとした乗用車が衝突。

中型トラック: 停止から優先道路の交通が切れたタイミングに、左右の安全確認を行いながら発進。注視視線を左方から右方に向けた時、乗用車が直前まで迫っていた。

乗用車: 優先道路から一般道路に進入後、優先道路の交通が切れたタイミングに、右折発進。視線を左方から正面そして右方に向けた時、中型トラックが直前にいた。

原因は……

双方が停止状態で安全確認を行わず、動きながら安全確認をしていたため、危険の接近が加速し事故の回避に間に合わなかった。

この事故を防ぐためには…

動きながらの安全確認は、自ら危険を引き寄せる行動になる。

中型トラック

動きながらの左右確認は大変危険です。

左を見ている間は、左の安全確認はできますが、右は何も見えていない状態です。しかし車は動いています。

右側に簡単に見つけられる危険が迫っていても、左を見ている状態では発見する事はできません。

乗用車

中型トラックと同様に動きながらの左右確認は大変危険です。

また双方とも、左方の交通事情を気にしている事から、交差点進入のタイミングは「その瞬間」をねらったものと考えられます。

両車とも安全確認は停止して、発進は余裕とゆとりを持って行ってください。

《事故防止上の注意点》

安全確認は停止状態で、発進は余裕とゆとりを持ってから！

- 安全確認は動きながらではできません。確認する前の危険は、動けば動くほど迫ってきます。
- 交通事情により「その瞬間」のタイミングを狙う時があります。しかし、それは事故が発生するタイミングかもしれません。十分な余裕とゆとりを取れる時が安全なタイミングです。



YONKOKYO

事故事例ニュース

第275号

四国交通共済協同組合
安全対策部

坂南市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)

0877-85-7992

電話0877-44-4416代

まず止まるそして確認みぎひだり